## (19) 日本国特許庁 (JP)

### ①特許出願公開

# <sup>®</sup> 公開特許公報(A)

## 昭58-179816

€ Int. Cl.3	識別記号	庁内整理番号	砂公開 昭和58年(1983)10月21日
G 02 B 27/18 G 03 B 27/50 G 03 G 15/04	. 1 1 3	6952—2H 6952—2H 6952—2H	発明の数 1 審査請求 未請求
H 04 N 1/04		8020—5 C	(全 4 頁)

**郅結像装置** 

20特

顧 昭57-62978

**20出** 願 昭57(1982)4月15日

72発 明 者 宮下隆明

東京都大田区中馬込1丁目3番

6号株式会社リコー内

①出 願 人 株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番

6号

個代 理 人 弁理士 樺山亨

明 細 書

発明の名称

結像装置

特許請求の範囲

1. 多数のレンズを列状に配列したレンズアレイと、前記レンズアレイの後万に配置されて前記レンズの配列ピッチと同じピッチで配列された 直角反射面を有するミラーアレイとを一体に保持する第1の保持部材と、

前記レンズアレイの前方に配置されて物体側および像側光路を分離するための光路変換部材を保持する第2の保持部材とを備え、

前記第1 および第2の保持部材が互に係合してそれぞれ光軸万向に個別に移動可能な結像装置。

2. 前記第1 および第2の保持部材の係合部に前記移動のための案内を設けた特許請求の範囲第 1項記載の結像装置。

発明の詳細な説明

この発明は、ファクシミリやデジタルコピアま

たはプレーンペーパコピアなどの画像処理装置に使用される結像装置、特に多数のレンズを列状に配列したレンズアレイと、このレンズアレイの後方に配置されて各レンズの配列ピッチと同じピッチで配列された直角反射面を有するミラーアレイとレンズアレイの前方に配置されて物体側および像側光路を分離するための光路変換部材とを備えた小型の結像装置に関する。

 形成される。このミラーアレイ3はダハリスムミラーアレイオはなが、同様な機能であるが、同様な機変、通常を関連される。とのであるが、のであるが、のであるが、のであるなど、ないのであるなど、のであるなど、ののでは、でいるなど、でいるなど、でいるなど、でいるのでは、でいるなど、でいるなど、でいるなど、でいるなど、ないのではないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのではないのでは、ないのではないでは、ないでは、ないではないでは、ないのではないでは、ないではないではないのではないでは、ないではな

このような結像装置は、物体/像間距離が短く装置をコンパクトに作れる利点があり、また各光学 配品をプラスチックの一体成形で作れるので、装置を安価に製造できる利点がある。しかしながら、レンズアレイおよびミラーアレイを ブラスチック で一体成形する場合、 特にレンズアレイの場合、成形条件の差による曲率の変化、およびまたは、

1 ハウジング111に一体的に保持されている。一万 の光路変換部材 5 は、第2ハウジング12に保持さ れている。 第1ハウジング11は、レンズアレイ1 側の端部が開放されており、第2ハウジング12の レンズアレイ1側の端部も同様に開放されている。 そして、第1ハウジング11のレンズアレイ側端部 の外周面に第2ハウジング12の円周面が係合して、 互に光軸万向に移動できるようになっている。第 2ハウジング12の上下に設けられているのは、入 射光および出射光のための開口窓である。第1ハ ウジング 11 および第 2 ハウジング 12 の光軸方向 の相互移動を確実にするために、第4回に示すよ うに案内 15 ,16 ,17 を設けるとよい。この案 内 15 , 16 , 17 は、第 1 ハウジング 11 の上面お よび両側面(一方のみが図示)に移動方向に沿っ て設けられた突条と、第2ハウジング12円周面に 設けられたとれらに係合する構とで構成されてい るが、その形状および個数は任意である。

この発明による結像装置10は、このように構成されているので、第1ハウジング11をよび第2ハ

材料の密度変化による屈折率の変化などの原因により、定められた焦点距離が得られない場合がある。したがって、このようなレンズアレイを結像装置に組み込むと、最適結像が得られないことになる。

この発明の目的は、レンズアレイを使用した焦 点距離を容易に調整し うる結像装置を提供することにある。

この発明の他の目的は、焦点距離の異なるレン ズアレイをも使用しうる結像装置を提供すること にある。

この発明のさらに別の目的は、物理的な物体/ 像間距離の異なる別の機械にも使用しうる結像装 置を提供することにある。

この発明のこれらの目的は、レンズアレイおよびミラーアレイを保持する第1の保持部材と、光路変換部材を保持する第2の保持部材とを、互に保合させてそれぞれが光軸方向に個別に移動できるように構成することにより遠成される。

第3図には、この発明の一実施例が示されている。レンズアレイ1 およびミラーアレイ3は、第

この発明による結像装置は、物体面から像面までの光学的距離(光路長)は一定である。このため、第 5 図および第 6 図に示すように、第 1 ハウジング 11 および第 2 ハウジング 12 を光軸万向に移動させてレンズアレイ 1 と光路変換部材 5 までの距離 d を変化させると、物体面18から像面19ま

での物理的距離 h も変化する。したがって、この発明による結像装置は、物体面 18 から像面 19 までの物理的距離 h の異なる他の機械にも適用することができ、汎用性を有してそれだけコストダウンを図ることができる。このような使用を行なり場合には、異なる機械のための異なる h に簡単に適合できるように、第1ハウジング11と類 2ハウジング12との係合部に、複数のクリックストッパーを設けるとよい。

この発明において、さらにレンズアレイとミラーアレイ3との設定位置を可変にすることにより、各レンズと直角ミラーとで構成される単ーレンズ系の画角を変化させて、アレイ状にした合成レンズ系における像面の照 度分布を変化させることができる。これにより、例えばファクンミリ用の級走査かよび復写機用の面走査への最適適用が可能になり、光学系を結像スリット幅の広さに応じて最適な特性で使用することができる。

このように、この発明においては、レンズアレ イとミラーアレイさらに光路変換部材間の設定距

され、その一複写サイクルを終える。

第9図は、この発明による結像装置10をファクシミリアやデジタルコピアなど原稿読取装置に適用した例である。結像装置10は、原稿ガラス30と等倍ラインイメージセンサ31との間に配置されている。原稿32は、原稿台33とガイド板34との間に登り込まれ、強光灯などの光源35の照明を受けながら、搬送ローラー36によって間欠送りされ、その1ライン分の画像が、結像装置10によってイメージセンサ31上に投影される。イメージセンサ31では、受けた光によって電荷が発生し、自身の電荷送機能により時系列化された電気信号が収り出される。このような送りローラー36による副走査およびイメージセンサ31による主走査によって、原稿32の読み取りが行なわれる。

### 図面の簡単な説明

第1図は、この発明の基本光学系を示す図、第2図は、その分解斜視図、第3図は、この発明の一実施例を示す断面図、第4図は、この発明の別の実施例を示す斜視図、第5図および第6図は、

離を可変とすることにより、同一光学部品の組み合わせて非常に自由度の大きい結像装置を得ることができる。

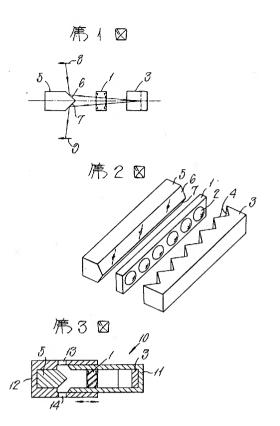
第7図には、この発明による結像装置10を使用 した電子写真複写機の一例が概略的に示されてい る。感光体トラム20の表面には光導電性絶縁層が 設けられており、これと同速度で同方向に直線移 勘する原稿ガラス21との間に結像装置10が配置さ れている。感光体ドラム 20 の表面は、まず帯電 チャージャ22によって所定極性に一様に帯電され、 そこに光源 23 によって照明された原稿ガラス 21 上の原稿 24 が結像装置 10 を介して投影される。 これにより、感光体ドラム20上の帯電電荷が選択 的に消散されて、そとに原稿像に対応した静電階 像が形成される。この静電潜像は、現像装置25か ら供給されたトナーと呼ばれる滑色微粒子によっ て現像され、現像画像は、転写チャージャ26の下 で転写紙27に転写される。転写紙27が感光体20か ら分離された後、感光体20表面上に残留する転写 残りのトナーがクリーニング装置28によって除去

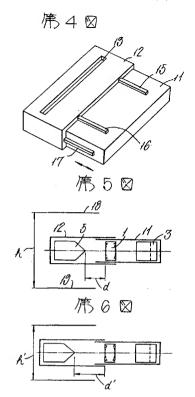
この発明の態様の変化を示す凶、第7図は、この 発明を電子写真複写機に利用した例を示す図、第 8図は、この発明をファクシミリやデジタルコピ はよっ アの原稿読取装置に応用した例を示す図である。

1 … レンズアレイ、 3 … ミラーアレイ、 5 … 光路変換部材、 11 … 第 1 ハウジング、 12 … 第 2 ハウジング。

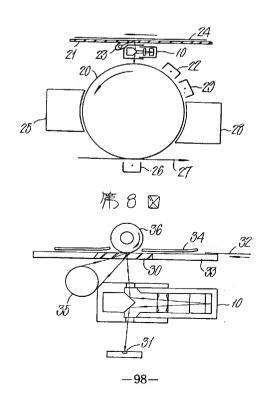
代理人 樺山







席7□



PAT-NO: JP358179816A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 58179816 A

TITLE: FOCUSING DEVICE

PUBN-DATE: October 21, 1983

INVENTOR-INFORMATION:

NAME COUNTRY

MIYASHITA, TAKAAKI

### ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY

RICOH CO LTD N/A

**APPL-NO:** JP57062978

APPL-DATE: April 15, 1982

INT-CL (IPC): G02B027/18 , G03B027/50 , G03G015/04 , H04N001/04

US-CL-CURRENT: 359/821

#### ABSTRACT:

PURPOSE: To adjust easily the focal length, by making it possible that a member holding a lens array, where many lenses are arranged in a row, and a mirror array as one body and a member holding an optical path converting member are engaged with each other and are moved individually in the direction of the optical axis.

CONSTITUTION: Lens arrays 1 and 3 are held as one body in the first housing 11. One optical path converting member 5 is held in the second housing 12, and the end part on the side of the lens array 1 is opened in the first housing 11, and the end part on the side of the lens array 1 is opened in the second housing 12 also. The inside circumferential face of the second housing 12 is engaged with the outside circumferential face of the lens array-side end part of the first housing 11, and they are moved in the direction of the optical axis. Aperture windows for incident light and exit light are provided in upper and lower parts of the second housing 12.

COPYRIGHT: (C)1983, JPO&Japio